

# 新年のご挨拶



## 元気な佐渡島をつくるために

佐渡市長 甲斐元也

平成27年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

本年は市政をお預かりして4年目を迎えますが、この間、市民の皆様からは市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り深く感謝いたしております。

私は、佐渡活性化の基本として3点を掲げて進めてまいりました。

1点目は、他の市町村が進めているような大企業を誘致して雇用を拡大することは、離島であるがゆえに困難であるため、佐渡で生産された産物の高付加価値化による外貨の獲得であります。

2点目は、日本の人口が減少していくなかで入込客を増やす対策だけでなく、宿泊数やリピーターの拡大を目指した観光振興であります。

また、合併して一番の問題は地域間の格差が生まれてきたことです。高齢化等は悪いことではありませんが、大事なことは地域に住んでおられる皆様が、地域の特色を活かして元気に活動することです。そのため、3点目は支所等を充実して地域の自主的な活動を促し、組織化によって特色ある地域づくりを進めてまいりました。

この3年間で、確実に明るい兆しが出てきました。農林水産物においては、大手企業、百貨店、生協グループ

等から評価され、年間取引の契約も多くいただけるようになりました。観光では1泊から2泊へと泊数が増加し、本島の佐渡の良さを満喫していただけるお客様が増えております。

そして島内各地では、祭りや行事の復活等を通して地域が元気になるつつあると感じています。

その一方で、人口減少にどう対応していくかが課題であり、自然減の大きい佐渡において人口を増加させることは大変難しいことであり、少しでも減少を食い止め、元気のいる佐渡を創る必要があります。

27年度は、この3点の基本施策を土台として、地方創生に向けた国の交付金制度等を活用しながら、若者の定着や暮らしやすい環境づくり、産業振興に力をいれて取り組みます。

特に、平成29年度を目標としている金銀山の世界遺産登録に向け、日本の代表としてユネスコに推薦されるかどうかの大事な年であり、構成資産の内容は、他の候補地と比較しても決して劣りません。この登録が佐渡活性化の大きな起爆剤になりますので、市民の皆様のご理解をお願いします。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い1年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。